

1 伊佐雄志神社



※写真提供 富山縣護國神社

基本情報

所在：富山縣護國神社
 住所：富山県富山市磯部町1-1
 (富山地方鉄道 電停「安野屋」 徒歩3分、コミュニティバスまいどはや「護国神社」下車すぐ)
 連絡先：富山縣護國神社 076-421-6957
 建立者：富山縣護國神社
 鎮座年：昭和26年4月25日

碑文

なし

説明文

昭和二十年八月一日の富山大空襲による戦災殉難者の御霊を祀る伊佐雄志神社(旧富山縣鎮靈神社)は、治安の維持と災害防護その他民生安定のため殉職せられた自衛官、警察官、消防団員、郵便局員及び地方功労者の御霊を含む、約三千余柱の御霊をお祀り申し上げております。

また当社境内にございます遺宝館(資料館)では富山大空襲の関連資料と写真、また音声ガイドでの資料説明が行われております。

2 富山大空襲戦災殉難者慰霊「伊佐雄志神社例大祭」



※写真提供 富山縣護國神社

開催概要(平成24年度)

歳事名：富山大空襲戦災殉難者慰霊「伊佐雄志神社例大祭」
 会場：伊佐雄志神社
 (富山地方鉄道 電停「安野屋」 徒歩3分、コミュニティバスまいどはや「護国神社」下車すぐ)
 日時：平成24年8月1日(水) ※例年8月1日開催
 参列者数：約50人
 連絡先：富山縣護國神社 076-421-6957

式次第(平成24年度)

1. 修 祓 の 儀
2. 宮 司 一 拜
3. 献 饌
4. 宮 司 祝 詞 奏 上
5. 玉 串 拜 禮 : 宮司・総代会長・県知事・県議会議長・市長・市議会議長
 県遺族会長・市遺族会長・御遺族・神社役員・崇敬会員など
6. 御製「立山の御歌」奉唱
7. 撤 饌
8. 宮 司 一 拜

概要

昭和二十年八月一日、富山市は米軍による大空襲を受けました。市街地は一夜にして廃墟となり、死者は約三千人、負傷者は約八千人にのぼりました。
 米軍は、非戦闘員の殺傷、非軍事目標並びに無防備都市の攻撃を禁止した、国際法ハーグ陸戦条約に違反し、大量の焼夷弾を一般民家に投下したのです。しかも、まず橋を落とし、次に炎の壁をつくり、そして低空にて爆弾をおとす、多くの罪なき人をまさに袋のネズミとして殺戮したのでした。
 氷見市太田、島尾、窪の浜には、後日多く焼死者の御遺体が、毎日のやうに流れ着いたさうです。神通川へ飛び込んだ方々でありませう。若い母親が生まれたばかりの赤ん坊をおぶつたままの姿、小さな二人の姉弟が離れまいとへこ帯で手を縛り合つたままの姿、片手のない兵隊さんの姿等々。今も尚、島尾の地に於いては、これらの御霊をお慰めしようと慰霊祭が執り行はれております。

3 戦災復興記念像（天女の像）



基本情報

所在地：富山城址公園
 住所：富山県富山市本丸1
 （J R 富山駅、富山地方鉄道 電停「電鉄富山」 徒歩10分）
 連絡先：富山市 076-431-6111（代表）
 建立者：富山復興特別事業協議会
 建立年：昭和49年8月1日

碑文

【表】
 戦災復興記念

【裏】
 昭和二十年、太平洋戦争は激烈の度を加え 八月二日未明 富山市は B29 七十余機の焼夷爆撃攻撃を受け 市街地は一瞬にして焦土と化した
 約二万五千の世帯 十一万人の市民が罹災し 約八千人が重軽傷を負い 二千二百七十五人が尊い生命を失い まさに壊滅の状況に置かれた
 惨憺たる焼土と絶望の虚脱の中から 富山市民は 平和を渴望し郷土の復興に 気力を燃やし 槌音高く 県都富山の 再建に立ち上がった
 以来二十有余年 市民の決意と総力の 結集が実を結び 戦災復興の大業が成り 近代的都市が出現した
 ここに
 恒久の平和を念願するとともに 尊い犠牲に敬虔な祈りを捧げ 市民の努力の偉大な業績を記念して 戦災復興記念像を建立する
 昭和四十九年八月一日
 富山県知事 中田幸吉 題
 富山市長 改井秀雄 録

【右側面】
 推進団体
 富山復興特別事業協議会
 ※個人名
 原型 米 治一
 鑄造 株式会社 竹中製作所

説明文

戦災復興記念像（天女の像）の説明版

昭和二十年、太平洋戦争は激烈の度を加え、八月二日未明に、富山市は、B29百七十余機の焼夷爆撃攻撃を受け、市街地は一夜にして焦土と化しました。
 約二万五千の世帯、十一万人の市民が罹災し約八千人が重軽傷を負い、二千七百余人の尊い命が失われ、まさに、壊滅的な状況になりました。
 惨憺たる焼土と、絶望の虚脱の中から、富山市民は、平和を渴望し郷土の復興に気力を燃やし、槌音高く、県都富山の再建に立ち上がりました。
 市民の決意と総力の結集が実を結び、戦災復興の大事業が完成し、今日の近代的都市に生まれ変わりました。
 この天女の像は、恒久の平和を念願するとともに、尊い犠牲に敬虔な祈りを捧げ、市民の努力による偉大な業績を記念して、富山復興特別事業協議会により、昭和四十九年八月一日に、戦災復興記念像として建立されたものです。

平成二十年八月一日
 富山市

4 平和祈願之碑



基本情報

所在：富山市豊田本町
 住所：富山県富山市豊田本町2-13
 (富山ライトレール 城川原駅、越中中島駅 徒歩17分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：鈴木善蔵
 建立年：昭和63年7月26日

碑文

【左側面】

鈴木善蔵

【表】

平和祈願之碑
 土岐 幸隆 書

【右側面】

昭和六十三年七月建之

【裏】

大東亜戦争被爆地の記

一九四五年(昭二十年)七月二十六日朝八時頃アメリカ軍の爆撃機B29が飛来し豊田のこの地に爆弾を投下しました。そのため鈴木善作(当時四十九才)ほか十五名の者が被爆犠牲者として尊き生命を断ちました。人類にとって戦争ほど醜く嘆き悲しまずにいられないものはありません。再びと、このようなことの起ることはなく未来永遠に人類が平和でありますことをお願いしてこの碑を建立します。

一九八八年(昭六十三年)七月二十六日

【犠牲者名碑】

犠牲者名
 (故人名)

5 慰霊地蔵尊



基本情報

所在地：島尾海浜公園
 住所：富山県氷見市島尾
 （JR島尾駅 徒歩3分）
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：島尾自治会
 建立年：昭和50年8月1日

碑文

【表 上部】	【裏】
和光同塵	地藏尊像建立高額御寄附者御芳名
國泰心田口題	(個人名)

【表 下部】

趣意書

昭和二十年夜半、東南の夜空は夕焼けの様に真赤でした。私達の上空ではサーチライトの光芒に小さい機影を見せて、B29の編隊が何度も富山市の方に向けて行きました。富山市の大半が焼き払われ、二二七五人の無辜の市民が無残に焼き殺された富山空襲の遠い夜景でありました。それから数日、劫火に追はれ川に逃がれて甲斐なく溺死した人々でありましょう、この海岸に点々と漂流死体が打上げられました。生まれたばかりの嬰兒をしっかりと胸に抱いた若い母、十二、三才の姉と六、七才の弟と手を縛り合せた寝まき姿のいたいけな骸に涙しながら村の古老達が近くの松の根方に懇ろに葬りました。それから毎年八月一日、この不幸な無縁仏に野花を供えて供養をいたしておりますが、国泰寺管長稲葉心田老師の御激励と地元有志の協力を得まして、本年三十年忌に当り地藏尊像を建立いたしました次第であります。御芳志賜りました多数の皆様のお心を念じまして、永く供養いたしたいと思います。

昭和五十年八月一日
 建立委員長 (個人名)
 昔話人代表 (個人名)
 地元各団体 役員一同

6 空襲犠牲者慰霊祭



開催概要 (平成24年度)

歳事名：空襲犠牲者慰霊祭
 会場：島尾海浜公園内 慰霊地蔵尊前
 （JR島尾駅 徒歩3分）
 日時：平成24年8月12日(日) ※例年8月12日開催
 参加者数：80人
 連絡先：島尾自治会

式次第 (平成24年度)

1. 主催者あいさつ
2. 読経：国泰寺 管長
3. 法話
4. 焼香

式辞 (平成24年度)

なし